< VI 展示研究報告 (6) >

地域連携・研究センター企画展

川本 利恵*

はじめに

平成28年(2016)度6月より、千代田三番町キャンパス1号館ロビーに地域連携・研究センター(以下、「センター」という。)が管理・運用する展示ケース2台を常時置いて、1年を通じて展示を行うことになった。

今年度もローズ祭(大学祭)が開催される6月17日 (日)に合わせて生活文化博物館(以下、「博物館」という。)からセンターへ企画を申し込んだ。主催はセンターで、企画が博物館の第4回目の企画展である。

1. 張り子展

企画を考えるにあたり、条件の一つに蛍光灯の明かりのもとでも劣化の恐れが少ないことが挙げられる。 博物館で所蔵する資料の中で今年は張り子を選んだ。

展示する資料については、三春張子の人形とダルマ、 お面を中心に首振りの虎など、なじみのあるものを選 択し、製作工程も取り入れることにした。

キャプションを自家製で、解説文と製作工程説明文 は以前博物館での展示で使用した文章に修正を加えた ものを業者に発注してパネル化した。また、タイトル は業者に頼んで垂れ幕を作成した。

会期を平成30年6月17日(日)から10月5日(金)と設定し、展示作業は6月15日(金)に行った。会期が長いため、8月28日(火)に一部資料の入れ替えを行った。



写真1 展示のようす(前期)



写真2 三春張り子製作工程



写真3 虎の張り子(前期)



写真4 展示のようす(後期)



写真5様々な張り子(後期)

※展示資料リスト

名称	年代	大きさ (cm)	製作者
高柴ダルマ	平成 17(2005)年	22.6 × 15.6 × 15.0	福島県 橋本広司
腰高虎	平成 17(2005)年	$21.6 \times 22.1 \times 12.3$	福島県 橋本広司
おかめ	平成 17(2005)年	$20.6 \times 14.8 \times 7.6$	福島県 橋本広司
春駒	平成 16(2004)年	$19.6 \times 14.8 \times 8.1$	福島県 橋本広司
京おどり	平成 16(2004)年	$19.4 \times 13.9 \times 5.9$	福島県 橋本広司
踊大黒	平成 16(2004)年	$14.6 \times 10.0 \times 5.8$	福島県 橋本広司
天神	平成 16(2004)年	$17.5 \times 17.8 \times 10.7$	福島県 橋本広司
張り子人形製作工程	平成 16(2004)年		福島県 橋本広司
豆虎	平成 17(2005)年	$11.5 \times 19.5 \times 7.5$	福島県 中尾俊雄
首ふり虎	平成 17(2005)年	$9.0 \times 16.3 \times 5.2$	香川県 田中清巳

入替後

小とら	平成 17 (2005) 年	$11.0 \times 18.5 \times 5.4$	茨城県 飯田善司
十二支 (犬)	平成 17(2005)年	$10.8 \times 8.5 \times 6.8$	福島県 橋本広司
ひょっとこ	平成 17(2005)年	$21.0 \times 14.4 \times 8.2$	福島県 橋本広司
起上りヒナ	平成 17(2005)年	雄雛: 9.5 × 4.5 × 4.2	福島県 橋本広司
		雌雛: 8.0 × 4.5 × 4.4	惟局宗 - 倘平仏 印
お福さん	平成 16(2004)年	$13.4 \times 12.4 \times 6.5$	福島県 橋本広司
福助	平成 16(2004)年	$20.6 \times 15.4 \times 14.8$	福島県 橋本広司
恵比寿	平成 16 (2004) 年	$23.3 \times 11.3 \times 7.7$	福島県 橋本広司